

あくつ 広王 議員 (公明)



がんに関わる情報を集めたホームページを新たに作成するなど啓発強化を図る。マギーズ東京での相談事業のさらなる充実に努め、アピランス支援については、がん相談支援センターとの連携と具体的な支援策について検討する。

マンション管理の支援について

東京都のマンション管理状況届出制度の分析結果の公表と(仮称)品川区マンション管理適正化推進計画の早期策定を求める。また、管理計画認定制度の導入時には防災や町会・自治会への加入等の取り組みを上乗せ基準として提案する。届出の分析結果はホームページでの掲載を検討する。また、推進計画の早期策定を検討するとともに、管理計画認定制度への区独自の上乘せ基準について検討している。

がん対策について

コロナ禍でのがん検診の受診控えに対し、啓発活動の拡充を求める。マギーズ東京での委託相談事業の拡充とアピランス支援(治療による外見の変化へのケア)について相談・助成事業の創設を求める。

マイナンバーカードの普及促進について
交付率アップとデジタルデバインド(情報格差)解消のため、休日やイベント、地域センター等での交付申請の受付など工夫を求める。また、新たなマイナポイント事業に備え、万全の体制構築を求める。イベント等での申請受付を検討する。新たなマイナポイント事業については人員体制を柔軟に対応し、ポイント付与への支援も継続する。

環境分野におけるSDGsの取り組みについて

来年度の見直しにおいて品川区環境基本計画にSDGsを根底に位置付け、来年開設の区立環境学習交流施設「エコルとこし」ではSDGsを活用した展示と国連のホイールバッジの活用を求める。SDGsの環境基本計画への反映、エコルとこしでの展示・表現内容の工夫やバッジの活用を検討する。

のだて 稔史 議員 (共産)



戸越公園駅前の暖かみある商店街を壊す戸越五丁目10番地タワーマンション計画は中止を

駅周辺では超高層ビルが立ち並ぶ計画が進められている。近隣住民はよく分からないまま、開発企業等が誘導する進め方は見直すべき。再開発事業は地区内権利者が主体、近隣住民には適宜説明会を開催し、コミュニケーションを図っている。暖かみある商店街を壊す戸越五丁目10番地タワーマンション計画は中止を。商店街機能の維持および活性化と、基盤整備や防災性の向上を図るものであり、計画中止は求めません。

気候危機の打開は待たなし 石炭火力、原発は廃止し、省エネと再生可能エネルギーへの転換を
地球温暖化により世界でも日本でも非常事態。打開には2030年

渡部 茂 議員 (自・無)



補助26号線について
補助26号線を経由するバス路線開業について、現状は。

区からの要望に対し、バス事業者からは運行に向け検討していくとの回答がなされた。
補助26号線開通後は戸越三丁目交差点の渋滞がひどく、しびれを切らした車両の住宅街への流入が大きな問題である。事故が起きる前に、早急な解決策を。

子育て支援について

区でも現状を把握しており、現在、交通状況の分析と具体的対応策の検討を都に要請している。
改築時期等を踏まえた区内児童センターの在り方についての考えは、ニーズ調査等で有識者や様々な立場の皆さんのご意見を聞き、求められる機能について検討していく。

高橋 しんじ 議員 (無所属)



教育・子ども施策
①学習活動以外の教育活動で、オンライン活用成果と課題。
②コミュニティスクールの今後の方向性。
学校地域コーディネーターは会計年度任用職員である。メリットとデメリット。
③マイスクールの対象は発達障害が背景にある児童生徒にも広げるべき。
④大田区のように特別教育課程制度施策を。
⑤特別支援教室は「原則の指導期間1年」にこだわらず柔軟に対応するべき。
⑥小学校に自閉症・情緒障害学級(固定級)の設置を。
⑦キッズゾーン設置の見込みは。

①すべての教育活動を通してタブレットを活用した改善を図っている。
②地域総がかりで児童・生徒

往原地区への区内3か所目となるプレイパークの早期開設を。
往原地区でのニーズ把握を兼ねた事業も好評を得ており、開設に向け引き続き適地の検討をしていく。

ペットとの共生社会づくりについて
ドッグランの設置について見解は、区立公園等への設置は難しいが、様々な工夫を検討していく。
地域猫去勢のための給餌は、地域でのペットとの共生社会づくりには必要な活動だ。今以上に周知を、一層の理解、協力をいただくため、より効果的な啓発に努めていく。
大規模災害時のペット同行避難がマニュアル化された避難所の数は、全52か所のうち34か所でペット受入れをマニュアル化している。

品川区の文化スポーツについて
東京2020大会終了後のレガシーとなるような取組の状況は、子ども達がトップアスリートと接する機会創出等に努め、大会関連物品の施設展示等も準備する。
民間の手法を活用し、庁舎移転後の跡地に文化スポーツの拠点となる複合的な施設の建設を。
ご提案の内容や整備手法等を含め、様々な観点から検討していく。

「仮称」勝島人道橋」が完成することのメリットは。
運河をはさんだ東西の回遊性向上、災害時の避難ルートとして防災性の向上にも寄与する。
文化・スポーツと地域
地域を活性化する「品川版武道ツリズム」、「BUDO×文化×歴史体験ツリズム」の事業化を。提案の内容も参考に品川の文化・スポーツのコンテンツを生かした事業に取り組み、地域の活性化につなげる。

区政運営
①庁舎建て替え。どのような起債をするか。
②新庁舎建設基金条例の制定が正攻法と考えるが、
①特別区債の起債を検討。都と事前協議する予定。
②基金の設置を含め、様々な方法を検討中。